



南あわじ市

議会だより

昨年5月から運営が開始された民間の競走馬調教施設には、約1kmの坂道トレーニングコースやウォーキングマシン、温泉の出るシャワーなどが整備されている。



夢駆ける！ 淡路島から未来のスターを

産業厚生常任委員会が 競走馬の調教施設を訪問

4月25日 awajiトレーニングセンター(灘)



施設のある灘地区は、冬は温暖で夏は海からの風で涼しい。また京阪神の競馬場までの輸送時間が短く、競走馬にとって理想的な環境であるとの説明を受けた。



主な内容

- 6月定例会の結果……………2～5
- 一般質問……………6～13
- 7月臨時会の結果……………14～15
- 委員会レポート……………18～19

市税条例等の一部改正

国の地方税法などの一部改正などに伴う改正

主な質疑 軽自動車税率の引き上げで税収は。 27年度は、2400万円程度の増収が見込まれ、将来、全ての

主な改正点 軽自動車税が1.25倍、1.5倍に 例：自家用貨物車……4,000円→5,000円 自家用乗用車……7,200円→10,800円 地域間の財政力格差を縮小 法人市民税(法人税割)2.6%、法人県民税(法人税割)1.8%を減額 新たに徴収 淡路人形協会に対する寄附金を個人市民税の寄附金控除の対象に

車両に新税率が適用されれば7千万円程度の増収になる。 引き下げの背景は。 エコカー減税など、燃費が良く自然環境へ配慮した車への買い替え促進のため。 法人市民税の減額による税収の変動、また国の地方法人税からの補てんはどれくらいか。 約3600万円の減収。補てん額については未定。

国民健康保険税の見直し 国民健康保険税条例の一部改正

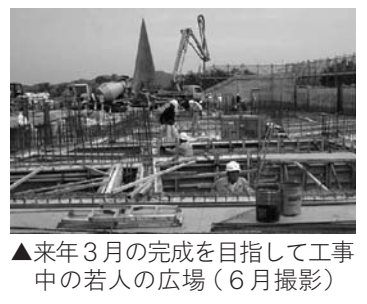
議案内容 国の地方税法施行令などの一部改正に伴う課税限度額の引き上げや軽減対象者の拡充などを、高所得者の負担増、中低所得者の負担軽減を図る。 主な質疑 課税限度額の引き上げにより負担増になる。 後期高齢者支援金等分で90世帯、介護分で40世帯であり、それぞれ556万7千円、219万7千円増収の予定。 保険税の5割軽減と2割軽減の世帯数、税収の変動は。 5割軽減世帯は医療分・後期支援分

討論 吉田良子議員 平成27年度からの、新車登録から原動機付き自転車やバイク、軽自動車税の引き上げで税収が1.25倍、1.5倍と増税になること。また法人市民税の税率引き下げ、その分を国税 化し、地方交付税として配分の制度が確立していること。 議論要旨 今回の条例改正により、低所得者の負担軽減があるが、この制度改正は全国一律のものであり、市の国保税は県下第3位の高さであり、一般会計からの繰り入れを計画的に行い国保税を低減させるべきである。 議論結果 賛成多数で原案可決



若人の広場公園整備工事請負変更契約の締結

議案内容 工事費用2444万円1480円の追加に伴う工事請負業者との変更契約。 主な質疑 費用増額の要因は。 答 今回の変更は、資機材高騰分と労務単価の変更を合わせた金額を増額したため。 議論結果 賛成多数で原案可決



▲来年3月の完成を目指して工事中の若人の広場(6月撮影)

介護保険制度における利用料負担の廃止等を求める請願書

請願者 障がい者の生活と権利を守る全国連絡協議会並びに兵庫視覚障がい者の生活と権利を守る会淡路支部代表者・吉田善平氏 請願は採択され、国に意見書を送付する。 ②障がい者総合支援法第7条(介護保険優先原理)をなくし、介護保険が自立支援給付のどちらかを選択できるように。 主な質疑 参考人として吉田善平氏の出席を求め、審査を行った。 委員間討議 一律に利用者負担をなくすと、各制度の存続が厳しくなる。 意見書提出先 内閣総理大臣 厚生労働大臣

意見書を提出 産業厚生常任委員会が、「介護保険制度における利用料負担の廃止等を求める意見書」を本会議に提出しました。 賛成多数で原案可決され、国へ意見書を送付しました。

議決結果一覧

Table with columns for proposer, proposal name, decision result, and individual council members' votes (賛/否).

●産厚=産業厚生常任委員会

一般質問

市政を問う

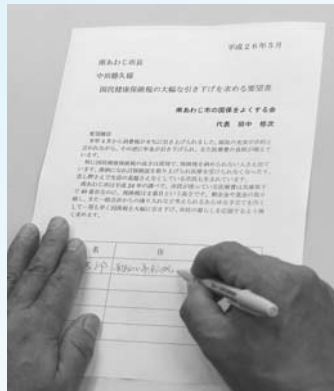
6月13日、16日、17日の3日間にわたって、14人の議員が一般質問を行いました。
なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を動画配信していますので、ご覧ください。

閲覧方法

市ホームページ → 南あわじ市議会ホームページ → 録画放送



問 今年度の国保税はどうなるのか。健康福祉部長 推定だが、一人当たり3142円の減額で、世帯当たりだと、8469円の減額になる。
問 税額が下がることは評価できる。年金受給者では、所得に対して、負担率はどうか。
市民生活部長 負担率は22.58%になる。
問 一般会計から計画的に繰り入れを行うべきである。市長 国保だけを取り上げると、ほかの色々な事業の負担に



国民健康保険税の大幅な引き下げを

問題が出てくる。国保が特にたいへんな状況になれば一般会計からの繰り入れも考える必要があると、きは考えていく思いである。
問 市は毎年の剰余金も出ているのでその一部を国保に繰り入れ、計画的に国保の負担を軽減するべき。市長 国に問題がある。どんどん繰り入れるという事は、通用しない。
問 どんどん入れろと言っていない、一部を入れたらどうかという提案である。

日本共産党 蛭子 智彦 議員

大鳴門橋遊歩道を真剣に

問 大鳴門橋遊歩道の考えはないか。産業振興部長 駐車場が確保できないのが難しい。
問 駐車場は工夫次第で可能。渦潮の世界遺産登録運動と一体として取り組むべき。他に人形座座員の処遇改善と南あわじ独自の農業後継者づくりについて質問した。

新庁舎開庁に合わせたコミバス運行の見直しについて



問 地域の要望を聞き過ぎて本来の目的を見失っていないか。市長公室付部長 要望どおりにダイヤを組んで行くと、ルート当たりの時間がかなり過ぎ、便数が減ることによる乗り継ぎの不具合や待ち時間の支障がでている。
問 デマンドで一人当たりの経費はいくらだったか。市長公室付部長 1人当たり、何も引かなかつたら1万5千円になる。
問 1日1便当たりの実績は約0.3人で

ある。今回の実証では、3人以上乗ってもらう設計だと思いが、目標の10分の1しか乗っていない。この原因は3時間前予約とか、自宅ではなく停留所から停留所へ運ぶなど利便性の悪さにある。
旧町単位のタクシース会社に、乗り合わせで何カ所か走ってもらうことは、コンピューターがなくても、タクシース会社の電話番号の人で十分対応できる。交通弱者に限定してそういうサービスにすれば、利用した分だけ払えば良い、検討いただきたい。



▲デマンド(予約)型乗合タクシーの改善を

ゆづるは・無所属クラブ 原口 育大 議員

市長公室付部長 旧町単位のタクシース会社で調整ができるのかなど、27年度改正に向け仕組みなども研究しながらダイヤ編成を行っていきたい。
その他、洲本市との定住自立圏形成協定、「減らそう元氣」について質問した。

桜ヶ丘公園の修繕の必要性和進入路の市道廃止をなぜしたのか?



問 来年の花みどりフェアまで来訪者が来ても恥ずかしくないような施設に修繕して欲しい。産業振興部長 当初できた時は、イブキも短く桜の木も咲いた観光地であったが木も古くなっていく現状であるが、どこまで整備できるか考えていきたい。
問 路線廃止はどうするの。産業振興部長 施設



▲桜ヶ丘公園 慈母観音像

の管理主体を関係者で決め、進入路のデコボコ修理を含め、公園として残す方向で協議を進めていく。
西淡中学校にプールを整備して欲しい
教育長 今の現状は教育の機会均等が崩れているので生徒さんには申し訳ないと思う。
現場の検証をして、来年度に向けて考えていきたいと思う。

市民連合・無所属クラブ 木場 徹 議員

吉備国際大学の現状と将来像について問う

問 この大学への助成額と入学者数は。市長公室長 13億円余りで昨年56名、市内から2名で本年は50名で市内から4名である。
問 大変厳しい数字で大学の存続にかかわる重大事であり、今後の課題として、大学をフォローする体制づくりが必要では。
農業振興部長 言われる通り市内農業の金の卵だと思っておられ、認定農家への研修、青年給付金制度の認定に努力する。
市長 卒業時にこの地域での農業への取り組みが1人でも出てくるのが大事である。

政真クラブ 柏木 剛 議員

花みどりフェア・食の拠点

問 花みどりフェアについて。

市長公室長 来年3月21日から72日間、淡路、洲本、南あわじ会場合わせ300万人の集客目標。予算規模6億円。南あわじの中心会場は食の拠点施設とイングランドの丘。

問 食の拠点第1期工事の進捗状況は。

農業振興部長 6月下旬の工事発注、来年2月25日完成目標。

問 1期工事3施設の一つ、情報発信施設の運営は。

産業振興部長 淡路島観光協会に運営委託。



問 養宜川改修要望の対応は。



▲食の拠点を市内農業活性化の起爆剤に

市民連合・無所属クラブ 長船 吉博 議員

市民交流センターとは？

問 市民交流センターの設置目的は。

市長公室付部長 地域コミュニティの支援、地域づくり。証明書などの窓口業務。公民館活動の充実。

問 字のごとく、市民により良くセンターを利用してもらい市民に対してのサービスが重要不可欠。

市民交流センターの役割と運営方法を明確にパンフレットにして各世帯へ配布



問 9月から10月に各世帯へチラシ配布する計画がある。

問 高齢者率29%を超え、各手続きに中央庁舎へ行った時に不備などがあり取り帰る事を繰り返す



誠道クラブ 谷口 博文 議員

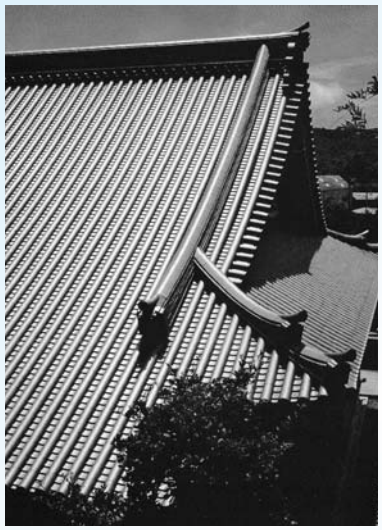
食の拠点到地元瓦の活用

問 27年3月21日から、花みどりフェアと同時に開設予定の食の拠点施設に地元瓦を使用するのか。

農業振興部長 瓦使用状況は、1階土間タイル淡路いぶし瓦敷き1040㎡、2階屋根536㎡、情報発信基地の屋根190㎡、合計1766㎡を使用する予定。

問 観光施設で最も重要なトイレはどのような計画か。

農業振興部長 トイレは、1階男子小4、大2、女子は3、多目的1、2階男子小3、大1、女子2、



▲食の拠点の屋根や通路に淡路瓦が使用される

市民連合・無所属クラブ 北村 利夫 議員

行政運営について

問 総合計画、策定の目的は。

市長公室長 市の10年後(平成28年)の、将来像と、目指すべきま

問 合併時の人口は。

市民生活部長 住民基本台帳の数字で5万4763人。

問 26年6月1日現在5万16人。27年度には国勢調査が実施されるが、基本計画策定根拠の法律が廃止されたが、市の自



問 統廃合は避けて通れない。



▲放課後子ども教室

問 再編計画策定時は、国の方針が出ていない時、環境が変わった。市の教育施設再編計画を考

若者の新築住宅の取得への支援を考へてはどうか

問 新婚世帯家賃補助をおこなっているが、新築住宅を取得した若者に対して、必要になる固定資産税の支援をおこなってはどうか。

市長 少子、定住策として具体的に考えていないが、総合的にいろいろ取り組んでいく所存。



▲各図書館(室)の充実を

三原図書館、緑・西淡図書館の充実を求める

問 計画では南淡図書館を南あわじ図書館、1館との方向が示されているが、三

子育て支援のさらなる拡充を

問 土曜日の終日保育、早朝保育などの充実は。

健康福祉部長 利用する児童、保育士の確保などを検討。

問 保育所のあり方検討委員会は、保育

所の統廃合や民営化の検討について提言書を市長に提出、民営化についてどうか。

市長 今後、十分協議をしながら進めていきたい。

問 子ども・子育て事業計画は、保護者などの意見を十分反映したものにするべきではないか。

健康福祉部長 いろんな形でよく説明なりPRしていきたい。

大胆な少子化対策について

健康福祉部長 市もこれまで少子化対策に、随分力を入れてやってきた。これらも踏まえ、総合的に勘案して、少子化対策、子育て支援、何をすれば一番実のある形になるのかをよく考えて、やっていきたい。

地方の活性化について

市長 そういう警鐘を受けてるわけ、鐘を鳴らされているわけであるので、これからはもうどうであつても少子化対策は最重要施策として今後も続けていきたい。

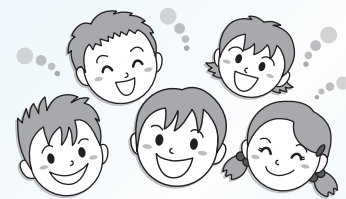
社会保障を子供に重点に

健康福祉部長 何かを増やせば、何かを減らすということが通常である。それをあえて言うことになると、収入を増やす努力をするか国、県

辰美校区の保育について

問 人口増の現実的な政策として、出産・子育ての充実を図り女性の社会進出の手助けをする。辰美校区の保育について。

教育部長 場所などについては今協議している最中。



問 交流保育について非常に好評である。2園の話も出ています。

教育部長 2園の構想については、子供たちの将来を考えると1園ではないかとのいうような感じを持つている。

市長 あまり話がないところであつち飛びこつち飛びしたんでは、地域の人にも大変迷惑がかかるし、関係する人と、もう一度詳しく協議をして欲しい。

学力テストの公表について

問 全国一斉学力調査結果を学校ごとに公表してもよいと文科省は方針転換したが、本市教育委員会の見解は。

教育長 本調査の本来の目的は、各学校や地域での子どもの実態を様々な角度から調査して課題を把握し、授業改善などに具体的に役立てていくことにある。

超高齢社会におけるまちづくりに向けて

問 本市でのひとり暮らしの高齢者は、健康福祉部長 前回の国勢調査では1713人であった。

問 常に問題意識として持っている大きな課題は。

健康福祉部長 大規模な災害発生時、災害要援護者などを行

政と市民が協力していかに守り切れるか。

もう一つは、団塊の世代が75歳以上になる2025年を目途に、重度な要介護状態となつても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後

まで続けていけるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築していくことだ。

問 認知症患者の増加が社会問題化しているが。

健康福祉部長 これまで『家族の問題』とされてきたが、『社会全体』で受け止め、対策を講じていく必要があると思う。



いいき百歳体操



▲いいき百歳体操

下水道事業について

問 下水道事業の目的は。

下水道部長 市内の公衆衛生の向上と、公共用水域の水質保全。

問 一方では、事業費が膨大で景気浮揚策と揶揄されているが。

下水道部長 松帆、湊地区が8割残り、平成37年度に全域が完了予定。

問 管路布設工事で必然的に道路事情が良くなった。道路補修した場合どれだけの費用が必要か。

下水道部長 現在まで約110億円程度が道路事業分だと思

問 現在の起債残は。下水道部長 293億円。

問 起債の償還は。下水道部長 25年末現在、元利償還金11億9千万円、償還利息など5億7千万円、交付税約半分超。

問 800億円と莫大な事業。毎年8億円一般財源から繰り出している。健全経営を求める。



問 総事業費、進捗率は。

下水道部長 約800億円。処理場は全部供用開始済み。面整備は全体で81.8%。遅れている地域

問 接続率は。

下水道部長 64.8%。

問 使用料と維持管理費は。

下水道部長 使用料3億2900万円、維持管理費4億1千万円。



▲賀集浄化センター

公明党 熊田 司 議員

県の被害想定に対する 取り組みの強化を



市はどのような対策をたてていくのか。 川野副市長 南海地 震災波対策アクションプログラム実施本



地域包括システム の構築を 老人福祉と介護 における当市の課題

県の被害想定に 対する市長の感想は。 市長 今回の県の発 表は、レベル2の千 年に一回程度の最悪 の地震を想定してい る。一万一千程度の 家屋の倒壊が予想さ れているので、命だ けは守れるように、 寝室に簡易なシエル ターを設置するなど 耐震補強に取り組ん でいきたい。 市はどのような 対策をたてていくの か。

は何か。 健康福祉部長 保険 制度の改正により、 訪問介護と通所介護 について、地域の実 情に応じた取り組み を市が行うことになっ た。そのためには、 現在の介護関係者の 事業所に加え、地域 の理解と支援がなけ れば成り立たない。 それをどうやって構 築していくのが喫 緊の課題である。

ゆづるは・無所属クラブ 登里 伸一 議員

湊地区の防災対策について



津波・水害・市 街の内水・地震と廃 屋などの対策と施策 を問う。 都市整備部長 県は 2ヶ月前後の津波と地 盤沈下などで、浸水 域が増大する想定で す。御原橋より下流 左岸の市街を守る堤 防整備は、平成36年 から実施。沈下対策 は本年度末に確定し ます。 内水は柿ノ木谷川 より津井側は、数年 前から江川などへの 排水路整備を進めて おり、松帆側も県道 改良時に、排水路整 備・ポンプ増強など



▲湊小学校へのカラー舗装された避難誘導路

津井地区の道路 整備について 津井地区の県道・ 市道の改良状況は。 都市整備部長 県は 過去のいきさつから 永年凍結してきた。 本年度から執行環境 が整えば、事業化す る箇所に格上げされ たので、登立の危険 箇所も内側の拡幅な ど検討中。 津井伊加利線は、 用地未解決である為、 休止状態です。 また湊港排水機場 の更新事業も、本年 度から実施します。 総務部長 湊小学校 への避難誘導路整備 は、カラー舗装・ソー ラー避難街路灯3カ 所、ソーラーポイン トライト・蓄光式誘 導板などを設置。避 難訓練もしています。 市民生活部長 廃屋 対策として5月から、 全自治会にアンケー ト調査を実施。 空き家対策検 討会議を開催 して取組んで います。

道路整備について

政真クラブ 廣内 孝次 議員



▲県道大谷鮎原神代線と市道大榎列古津路線との交差点

新庁舎前道路の国道への接続は。 都市整備部長 用地 買収並びに工事補償 の調整中。 庁舎前から松田 橋までの右岸道路の 整備、県道大谷鮎原 神代線への接続計画 は。 都市整備部長 長期 的な道路整備は状況 の変化などを勘案し、 今後検討する。 新松帆橋からJ A榎列支所の大榎列 古津路線のおのころ 橋までの延長は。 都市整備部長 近日 中に、地元自治会と 協議する。

洲本松帆線、掃 守から松帆経由の湊 まで倭文川の左岸道 路として、付け替え の計画は出来ないか。 都市整備部長 難し いが、県に要望は可 能と思う。 榎列小学校前か ら西川までの市榎列 線の歩道の計画は。 都市整備部長 計画 はないが、グリーン ベルトの設置を考え ている。 一般車両の通行 の多い農道補修は。 農業振興部長 査 定工事費の40%以内、 市道認定などを検討 する。



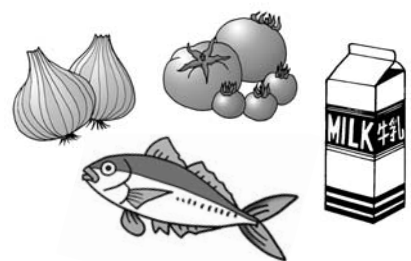
土砂災害について 太陽光のパネル 設置の為の大規模な 造成に対して、土砂 災害の予防は指導出

店舗や倉庫、納 屋などにも適用でき ないか。 産業振興部長 研究 してみる。 葺替工事は半額 だが、検討を要望す



淡路広域消防 事務組合議会 報告 平成26年 第2回 臨時会 (6月24日) 本市の議会議員選 挙に伴う役員改選とし て、副議長選挙や監査 委員の選任を行った。 また「平成25年度一 般会計繰越明許費繰越 計算書」が報告され、 賛成多数で承認。26年 度に消防庁舎建設事業 費など11億7454万 8千円を繰越する。 この他、火災予防条 例の一部改正が賛成多 数で可決。

洲本市・南あわ じ市衛生事務 組合議会報告 平成26年 第2回 臨時会 (4月23日) 3月末で、清掃セン ター(八木)が廃止さ れ、やまなみ苑(広田) に可燃ごみ処理が一本 化されたことに伴い、 条例を一部改正。同時 に正副議長選挙や監査 委員の選任を行い、議 長に川上命議員が選ば れた。



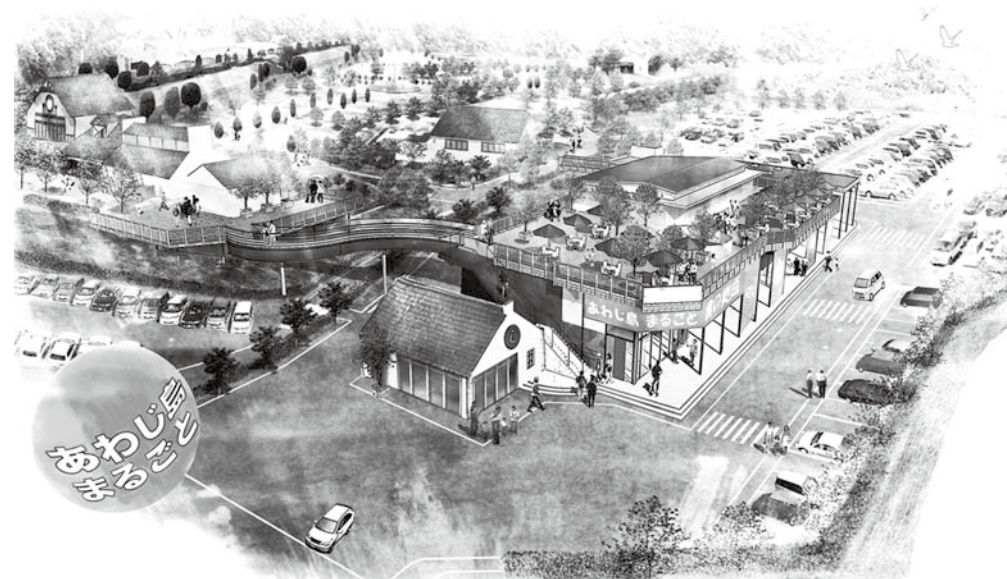
■ 討論
 反対 吉田良子議員

■ 討論要旨
 2階のレストランは、当初140席であったが、40〜50席に大幅に縮小され、また工事内容を早くも変更することになり、まず建物ありきで進められている。鮮魚のための水槽など設備面では協議事項が多く、市の負担が明らかになっていない。

■ 議案内容
 労務単価の改定などインフレスライド条項の適用に伴い7120万2240円を工事費用に追加する事に伴う工事請負業者との変更契約。

■ 主な質疑
問 追加費用を算出するにあたり、業者の積算額をそのまま計上したのか。
答 現在の価格を本市で再積算し、請負率を掛けた金額を業者に提示し、交渉を行なった。
問 インフレスライドについて国の指導は何%か。
答 国から何%という指導ではない。積算し、割り戻せば率が分かる。
問 建設や土木作業員の労務単価、市内の各産業の従事者の賃金水

■ 議案結果
 賛成多数で原案可決



第55回南あわじ市議会臨時会が7月7日〜7月9日の会期で開かれ、市長から提出された議案3件について審議が行われました。

各議案の内容と主な質疑や採決の結果をお知らせします。

▲「イングランドの丘」の駐車場に建設が予定されている『(仮称)あわじ島まるごと食の拠点施設』のイメージ。来年3月21日のオープンを目指している。

新庁舎建設工事請負変更契約の締結

■ 議案内容
 準などの実態調査はしているのか。
答 現在していないが、今後は市内経済の活性化にも影響があり国の経済対応策も含め、注視していきたい。
問 工事監理費に影響

はあるのか。
答 監理の事業量は変わっていないので変更はない。
■ 議決結果
 賛成多数で原案可決



▲来年4月の開庁を目指して建設が進む新庁舎（7月中旬撮影）

7月臨時会の日程

7月7日 臨時会1日目(議案上程ほか) 7月8日 産業厚生常任委員会(議案審査)
 " 総務建設常任委員会(議案審査) " 9日 臨時会2日目(採決ほか)

食の拠点施設の工事業者が決定 (仮称)あわじ島まるごと食の拠点施設第1期工事請負契約の締結

■ 議案内容
 施設工事の請負業者に株式会社森長組と7億7274万円で契約する。

■ 主な質疑
問 契約金額の内訳は。
答 直売所・フードコート・レストランが入る施設に約6億円、情報発信施設に約2千万円、外構工事に約1億円、下水道工事に約5千万円である。
問 団体客を集客するために、計画のトイレ数は少ないのではないか。
答 衛生器具の適正個数算定法などに基づいて設置している。今後イングランドの丘と併せて、淡路島の主要な観光拠点になることを鑑み、既存の公衆トイレ

を改善・拡張していきたい。
問 施設内に設置する設備や備品の整備予定は。
答 冷蔵庫や什器などの設備はできるだけ市で整備し、フードコート内の机や椅子などの消耗品については新会社で整備して欲しいと考えている。何が必要か、ある程度の積算はしているが、新会社における販売内容が固まってから、市と新会社で協議していきたい。
問 レストランの席数は。
答 40〜50席。
問 施設について、福祉のまちづくり条例に違反していないか。
答 建築確認と併せて県が福祉のまちづくり条例の検査もしており、

許可を得ている。
問 第2期工事の内容は。
答 加工場、料理体験施設、食育体験農場、試験田などを平成29年度から始まるほ場整備にあわせて着手する予定。
■ 委員間討議
 ● 農業、水産業、酪農・畜産業など市内の第1次産業を活性化することを目標に進めているというのを踏まえ、計画を進めてほしい。
 ● 議会で、請負契約の議決がされていない中で、出荷者の募集を行うのは時期尚早ではないか。

議決結果一覧

議長(小島 一)は表決に加わらない。
 (○は賛成、×は反対、※は退席)

提出者	議案名	議決結果 (議会の意思)	各議員の賛否																	
			中村三千雄	川上 命	阿部 計一	登里 伸一	北村 利夫	砂田 果洋	柏木 祐治	森上 久信	印部 吉博	長船 良子	吉田 孝次	廣内 徹	木場 博文	谷口 育大	原口 智彦	熊田 智彦	蛭子 智彦	
市長	新庁舎建設工事請負変更契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	新庁舎建設外構工事請負変更契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	(仮称)あわじ島まるごと食の拠点施設第1期工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×



▲今年度の全国市議会議員連会の社会文教委員長に選ばれた本市の小島一議長(写真左から2番目)らが7月14日、国民健康保険制度などの社会文教施策について、村木厚子厚生労働事務次官らに要望書を提出した。

議会活動日誌

議会活動状況について次のおり報告します。

- 4月**
- 4日 吉備国際大学入学宣誓式(正副議長、議連委員長、各常任委員長、消防団幹部初顔合わせ懇親会(議長、総建委員長)
 - 7日 会派代表者会
 - 8日 戦没者追悼式(全議員) 東播・淡路市議会議長
 - 14日 会定例会(正副議長) 総務建設常任委員会 南あわじ市・洲本市小中学校組合議会臨時会
 - 15日 近畿市議会議長会定期総会(議長)
 - 16日 議会広報広聴常任委員会
 - 17日 淡路政経懇話会4月例会(議長)
 - 18日 議会運営委員会
 - 19日 花つくり協会総会(議長)
 - 23日 洲本市・南あわじ市衛生事務組合議会臨時会

- 5月**
- 25日 産業厚生常任委員会管内調査
 - 26日 老人クラブ連合会三原支部総会(副議長) 連合自治会大会及び懇親会(議長)
 - 27日 消防団幹部新入団員訓練(議長)
 - 28日 兵庫県町議会議員公務災害補償組合計監査(議長) 兵庫県市議会議長会総会(正副議長)
 - 28日 兵庫県市議会議長会総会(正副議長)
 - 29日 会派代表者会議
 - 30日 淡路広域消防事務組合現金出納検査(総建委員長)
 - 10日 老人クラブ連合会総会並びに研修会(議長)
 - 11日 懇話会(議長) 体育協会定期総会(副議長、産厚委員長) 直売フェア(議長、産厚委員)
 - 12日 みどり学園開講式(議長)
 - 14日 熊本県水俣市議会会派視察受入(議長)
 - 16日 老人クラブ連合会南淡支部春季グラウンドゴルフ大会(議長)
 - 17日 高齢者大学うずしお学園開講式(副議長) 産業厚生常任委員会総務建設常任委員会
 - 19日
 - 20日

- 6月**
- 21日 愛知県豊橋市議会会派視察受入(議長) 老人大学ちどり学園開講式(副議長) 兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会定期総会(議長) 商工会通常総代会(副議長、産厚委員長) 老人クラブ連合会三原支部大会(副議長) ルフ大会(副議長) 福祉養老(議長) 人権教育研究協議会総会(議長)
 - 22日
 - 23日 県功労者表彰式(阿部議員)
 - 24日 ふれあい芸能祭カラオケ部門(全議員) ふれあい芸能祭芸能部門(全議員) 淡路文化会館運営協議会(議長)
 - 25日 全国市議会議長会定期総会各委員会合同会議(議長)
 - 26日 食品衛生協会通常総会(副議長) 淡路瓦工業組合通常総会懇親会(産厚委員長)
 - 28日 全国市議会議長会定期総会各委員会合同会議(議長)
 - 29日 地元国会議員への全国市議会議長会要望書提出(議長)
 - 30日 シルバー人材センター定時総会(副議長) 天皇陛下下拝謁(議長)
 - 2日 南あわじ市・洲本市小中学校組合議会臨時会

- 3日 議会運営委員会
- 5日 民生委員推薦会(産厚正副委員長)
- 8日 淡路人形芝居サポートクラブ定例総会議(議長)
- 9日 議会定例会(1日目)
- 13日 議会定例会(2日目)
- 16日 議会定例会(3日目)
- 17日 議会定例会(4日目)
- 19日 淡路消防保安協会創立40周年記念式典(議長)
- 22日 厚委員長) 消防法大会(正副議長、総建委員) 産業厚生常任委員会 淡路広域団体議会臨時会(正副議長、総建委員)
- 23日 産厚委員長) 淡路市議会産厚常任委員会視察受入(議長)
- 24日 市長杯ベトナム大会(議長)
- 25日
- 26日
- 27日
- 29日



▲5月14日、熊本県水俣市議会の会派が「淡路島たまねぎの振興について」視察に来られた。農業振興部の説明の後、後継者問題や販路拡大などについて意見交換をした。

地方自治の発展に貢献
阿部議員
蛭子議員に表彰

永年地方自治の発展と振興に貢献された議員が表彰されました。

兵庫県功労者表彰

自治功労賞

阿部計一 議員



全国市議会議長会表彰

在職10年以上表彰

蛭子智彦 議員



「政務活動費」25年度分 実績報告

政務活動費は、議員の審議能力や政策立案能力の強化を図るため、調査研究に必要な費用の一部を会派に対し交付するものです。

交付金額は、1人あたり年間15万円(月額12,500円×12カ月)として、会派に交付しています。

25年度(12月～3月)の実績一覧表は下記のとおりです。詳細は市ホームページ、または閲覧用書類(議会事務局に設置)をご覧ください。

※25年度は、11月に議会の改選が行われた為、12月～3月の実績報告となっております。

(単位:円)

会派名(人数)	交付額	執行額									返納額
		調査研究費	研修費	広報広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務費	計	
ゆづるはクラブ(4人)	200,000	72,455	75,340	10,525	0	0	0	15,200	25,844	199,364	636
市民連合・無所属クラブ(3人)	150,000	33,478	0	0	0	0	0	50,000	7,080	90,558	59,442
政真クラブ(3人)	150,000	72,455	76,230	0	0	0	0	15,200	0	163,885	0
日本共産党南あわじ市議団(2人)	100,000	23,668	2,000	0	0	0	0	58,805	26,917	111,390	0
無所属(登里伸一)	50,000	0	0	0	0	0	0	17,837	25,672	43,509	6,491
無所属(木場 徹)	50,000	31,581	0	0	0	0	370	0	4,012	35,963	14,037
南あわじ市公明党(1人)	50,000	0	0	0	0	0	0	0	9,280	9,280	40,720
計	750,000	233,637	153,570	10,525	0	0	370	157,042	98,805	653,949	121,326

注) 交付申請のない会派には交付していません。使われなかった残金は市に返納されます。交付額を超えた分は支給していません。

人形会館改修工事の責任は

産業厚生学担任委員会

4月25日の委員会

問 ゆとりつづくの温水プールで中学生に大人料金を徴収していたが。
答 20年の条例制定時、指定管理者と事務局で確認ができておらず結果的に6年間徴収していた。
問 返還方法は。
答 指定管理者より西淡中学校の生徒に利用券を1人3枚、配布したいと申し出があった。
問 旧津井小学校の跡地利用は。
答 第6期の介護保険計画の中で特別養護老人ホームを中心とした「福祉の里構想」を進めている。
問 学力テストの公開について。
答 検討したいが学校

月の総務委員会で附帯決議を出しているが。
答 業者に送付したが、業者は問題ないとの認識でいる。我々は当時、福祉のまちづくり条例を業者は当然知っているとして信用し、特に協議もしなかった。双方に解釈の違いがあった。
問 5月19日の委員会
答 人形会館建設での福祉のまちづくり条例違反は発注者と設計者の双方に責任があるのでは。

問 設計者また市にも責任があったと反省している。
問 設計者にも何割かの負担を。市が全面的に予算を使って改修するのは合理的に欠けるのでは。
答 安全・安心・早く改修をとという事で判断した。
問 保育所のあり方検討すべしとの提言があった。



▲スロープから階段に付け替えられた淡路人形会館の入り口

各委員会では、議会閉会中も調査活動などを行っています。4月・5月の議会閉会中に行われた委員会の調査概要を報告します。詳細は、市ホームページに委員会録を掲載していますので、ご利用ください。

レポート

委員会

そこが知りたい 委員会 レポート

地域おこし協力隊の活動は

総務建設学担任委員会

4月14日の委員会

問 行政評価の効果は。
答 今、一時休止中だが予算の削減効果があった。
問 人事評価制度の効果は。
答 本格運用を始めたところであり、今後成熟させていきたい。
問 沼島・灘地区の復興計画は。
答 沼島地区は、環境未来島構想の重点地区であり、地域おこし協力隊と一体となって島が変わるうとしていく。灘地区は、地元要求に基づき地債などの財源を活用したい。
問 新庁舎の進捗率は。
答 約18%で予定通り。国道までの道路接続は120%残っており用

問 吉備国際大学の今年度の入学者は。
答 定員60名に対し50名。龍谷大学の農学部が開設予定であるので大学と連携して、認知度アップに努めたい。
問 淡路地域総合治水推進協議会では、どんな協議をしているのか。
答 昨年度の協議会では、3市の関係者が河川の治水計画について話し合った。
問 太陽光発電の開発許可は必要か。
答 いろいろなケースがあり、県の判断に委ねている。
問 高齢者ニーズに基づいて、らんらんバスの改善をするべきでは。
答 基礎データを収集し、改善したい。

問 市民交流センター長に退職予定の公務員就任は可能か。
答 可能である。
問 地域づくり事業交付金の会計報告は。
答 毎年きっちり報告して頂く。
問 センター長人選に各地域で苦勞している。市の対応は。
答 各地域、あくまで地元でお願いしたい。
問 福良仁尾地域の浸水対策は。
答 県が26・27年の2年間で整備と聞いている。
問 セライナ市への派遣の応募状況は。
答 10名の予定に17名の応募。
問 募集条件の中に、ホームステイ受け入れがあるのは、きついのでは。
答 検討したい。
問 国内の友好市町への子ども達の派遣が減っているのは、親の負担が大きいためでは。
答 2年間応募がない。

問 松帆樺田、宝明寺川付近の道路冠水対策は。
答 重点項目として県へ強く要望したい。
問 タブレットの利用を促進してはどうか。
答 十分検討したい。
問 湊地区の高潮、浸水対策は。
答 住民からの意見を伺い、検討したい。
問 第三セクターの経営状況の把握は。
答 50%以上の出資をしている場合、自治法上の定めにより調査権がある。

問 民間組織の立ち上げ、また県の補助金で学術調査を行う予定。
問 辰美中と御原中が統合になったメリットは。
答 クラブ活動では選手層が厚くなり、競争心が働いたことで好成績を上げている。授業の効果はまだ分からない。
問 市内でいじめは。
答 中学校で1件。
問 不登校児童数は。
答 中学校で23件、小学校で3件。



▲沼島総合観光案内所「吉甚」を視察

沼島 地域おこし協力隊 吉甚の活動を視察 『若者の力で 地域を変える』

所管事務調査終了後、委員会視察を行った。6名の協力隊の活動の現状、目標などの報告、意見交換の中で、「沼島にはたくさんの魅力がある。それらを拾い上げ、多くの取り組みに幅を広げてきた。今後内容を整理し、インターネットを通じて更に情報発信に努力したい。」との生の声を聞いた。今後の活躍が期待される。

お知らせ

臨時会

第56回南あわじ市議会臨時会日程（8月）

	会議日	会議内容（予定）
第1日	8月1日(金) 午前10時	公の施設の指定管理者の指定ほか

	会議日	会議内容
委員会	8月1日(金) 本会議休憩中	総務建設常任委員会
		産業厚生常任委員会

定例会

第57回南あわじ市議会定例会日程（9月）

◆開会：午前10時～

	会議日	会議内容（予定）
第1日	9月1日(月)	1. 常任委員会調査報告 2. 平成25年度南あわじ市一般会計、特別会計等決算認定（説明、質疑、委員会付託） 3. 条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 4. 平成26年度南あわじ市一般会計補正予算案上程（説明、質疑、委員会付託） 5. その他の案件上程（説明、質疑、委員会付託）
第2日	9月5日(金)	1. 一般質問
第3日	9月8日(月)	1. 一般質問
第4日	9月10日(水)	1. 一般質問 2. 追加議案上程（説明、質疑、委員会付託）
予備日	9月11日(木)	
第5日	9月26日(金)	1. 追加議案上程（説明、質疑、討論、表決） 2. 付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）



◆開会：午前10時～

	会議内容	会議日
委員会	総務建設常任委員会	9月22日(月)
	産業厚生常任委員会	9月24日(水)

※25年度決算は、決算審査特別委員会を設置し、審査を行います。審査の日程は、決算審査特別委員会設置後、9月12日(金)・16日(火)・17日(水)・18日(木)で調整を行う予定です。

※日程など変更がある場合、ホームページなどで、お知らせ致します。

議会は中央庁舎3階の議場で傍聴できます。
またインターネットによる中継もしています。ご利用下さい。



編集後記

みなさん、ご覧になられたでしょうか。

6月定例会の本会議、総務建設、産業厚生常任委員会の様子を、ケーブルテレビのさんさんニュースで短時間でしたが、放映しました。議会から市民への情報発信のひとつとして初めての取組みです。これからも定例会などの様子をインターネットだけでなく、ケーブルテレビを活用しながら、少しでも議会を身近なものにしていきたいと考えています。

6月定例会で、老人クラブ女性有志や子育て世代の方々らが、議会の傍聴に来場しました。これからも気軽に議場にお越しくださいますようお願いいたします。
(吉田)